2025年度

Webクリエイター科
講義計画集

― 第1学年 ―

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

船橋情報ビジネス専門学校
〒273-0005　船橋市本町7-12-16
電話:047-425-1051

2025年度　（令和7年度）　年間計画表　　1W

2025/3/12 現在

前　期

4月

1	火	
2	水	新入生 オリエンテーション
3	木	
4	金	入学式
5	土	
6	日	
7	月	（職）
8	火	
9	水	前期スタート 水1回
10	木	木1回
11	金	金1回
12	土	
13	日	
14	月	月1回
15	火	火1回
16	水	水2回
17	木	木2回
18	金	金2回
19	土	
20	日	
21	月	月2回
22	火	火2回
23	水	水3回
24	木	木3回
25	金	金3回
26	土	
27	日	
28	月	月3回
29	火	昭和の日
30	水	**火曜振替3回**

5月

1	木	木4回
2	金	金4回
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日
7	水	水4回
8	木	**月曜振替4回**
9	金	金5回
10	土	
11	日	
12	月	月5回
13	火	火4回
14	水	水5回
15	木	木5回
16	金	金6回 26卒就職G
17	土	
18	日	
19	月	月6回
20	火	火5回
21	水	水6回
22	木	木6回
23	金	金7回
24	土	
25	日	
26	月	月7回
27	火	火6回
28	水	水7回
29	木	木7回
30	金	金8回
31	土	

6月

1	日	
2	月	月8回
3	火	火7回
4	水	水8回
5	木	木8回
6	金	金9回
7	土	
8	日	
9	月	月9回（職）
10	火	火8回
11	水	水9回
12	木	木9回
13	金	金10回 駅前C
14	土	
15	日	県民の日
16	月	月10回
17	火	火9回
18	水	水10回
19	木	木10回
20	金	金11回
21	土	
22	日	
23	月	月11回
24	火	火10回
25	水	水11回
26	木	木11回
27	金	金12回 26卒就職G
28	土	
29	日	
30	月	月12回
31	火	

7月

1	火	火11回
2	水	木12回
3	木	木12回
4	金	金13回 漢字検定①
5	土	
6	日	
7	月	月13回（職）
8	火	火12回
9	水	水13回
10	木	体育祭 木13回
11	金	金14回
12	土	
13	日	
14	月	月14回
15	火	火13回
16	水	水14回
17	木	木14回
18	金	金15回 ジョブパス
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	火14回
23	水	水15回
24	木	木15回
25	金	金16回
26	土	
27	日	
28	月	月15回
29	火	火15回
30	水	水16回
31	木	追試

前期試験

8月

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	山の日
12	火	受付業務停止
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	単位未取得者 発表
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	再試発表
27	水	26卒就職G
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

受付業務停止

後　期

9月

1	月	
2	火	
3	水	部活動合宿
4	木	部活動合宿
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	後期スタート 水1回
11	木	木1回
12	金	金1回
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	火1回（職）
17	水	**月曜振替1回**
18	木	木2回 研修合宿 JWF
19	金	金2回 研修合宿 JWF
20	土	
21	日	
22	月	月2回
23	火	秋分の日
24	水	水2回
25	木	木3回
26	金	金3回 26卒就職G
27	土	
28	日	
29	月	月3回
30	火	火2回

10月

1	水	水3回
2	木	木4回
3	金	金4回
4	土	
5	日	
6	月	月4回
7	火	火3回
8	水	水4回
9	木	木5回
10	金	金5回
11	土	
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	火4回（職）
15	水	水5回
16	木	木6回
17	金	金6回
18	土	
19	日	漢字検定②
20	月	月5回
21	火	火5回
22	水	水6回
23	木	木7回
24	金	金7回
25	土	若幸祭前日準備
26	日	若幸祭当日
27	月	若幸祭振替休日
28	火	若幸祭振替休日
29	水	**月曜振替6回**
30	木	木8回
31	金	金8回

11月

1	土	
2	日	
3	月	文化の日
4	火	火6回
5	水	水7回
6	木	木9回
7	金	金9回 ひろえば船橋
8	土	
9	日	色彩検定
10	月	月7回
11	火	火7回
12	水	水8回
13	木	木10回
14	金	金10回
15	土	
16	日	
17	月	月8回
18	火	火8回
19	水	水9回
20	木	木11回
21	金	金11回
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	火9回
26	水	水10回
27	木	**月曜振替9回**
28	金	金12回
29	土	
30	日	

12月

1	月	月10回
2	火	火10回
3	水	水11回
4	木	木12回
5	金	金13回
6	土	
7	日	
8	月	月11回
9	火	火11回
10	水	水12回
11	木	木13回
12	金	27卒就職G
13	土	
14	日	
15	月	27卒就職G
16	火	27卒就職個人面談 or J検情報デザイン
17	水	27卒就職個人面談 or J検情報デザイン
18	木	27卒就職個人面談 or J検情報デザイン
19	金	27卒就職個人面談 or J検情報デザイン
20	土	
21	日	
22	月	27卒就職個人面談
23	火	27卒就職個人面談
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

受付業務停止

1月

1	木	元旦
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	木14回
9	金	金14回
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	火12回
14	水	水13回
15	木	**月曜振替12回**
16	金	金15回
17	土	
18	日	
19	月	月13回（職）
20	火	火13回
21	水	水14回
22	木	木15回
23	金	金16回 漢字検定③
24	土	
25	日	
26	月	月14回
27	火	火14回
28	水	水15回
29	木	木16回
30	金	月曜振替15回
31	土	

後期試験

2月

1	日	
2	月	月16回
3	火	火15回
4	水	追試 Web能力認定試
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	卒業研究発表会
13	金	卒業研究発表会
14	土	
15	日	
16	月	27卒就職G
17	火	27卒Web面接練習
18	水	
19	木	在校生成績発表
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	（職）
25	水	
26	木	
27	金	再試発表
28	土	学校見学会
##	##	

後期試験

3月

1	日	
2	月	27卒学内合説
3	火	
4	水	
5	木	卒業生登校日
6	金	卒業式
7	土	
8	日	
9	月	（職）
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	終業式
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

1学年

本校の教育方針 …… 1
評価について／出欠席ルール …… 3
FJBネットID登録とメールアドレス …… 4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー …… 4
個人情報保護に関する基本方針 …… 5
教育目標と検定スケジュール …… 6

Web制作演習Ⅰ・Ⅱ	寺原 美由紀	7
Webアプリケーション演習Ⅰ・Ⅱ	山田　博人	9
Webデザイン概論Ⅰ・Ⅱ	三浦 敦史	11
グラフィックソフト演習Ⅰ・Ⅱ	松本 沙耶	13
DTPⅠ・Ⅱ	松本 沙耶	15
情報基礎	山田 博人	17
情報デザイン	寺原 美由紀	18
Office演習Ⅰ・Ⅱ	森廣　永江	19
ビジネス実務	高橋　豊	21
就職講座A	田邊　悦子・遠藤　幹雄	22
就職講座B	山田　博人	23
社会人基礎力Ⅰ・Ⅱ	寺原　美由紀	24

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校　長　　鳥　居　高　之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいるからです。しかし２年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。２年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の２つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

３つの守り

本校がとても大切にしている３つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

（１）バイク・自動車通学全面禁止。

（２）自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

（１）学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。

（２）授業開始前および終了後の５分間は使用禁止。（教員優先）

（３）３号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※路上はもちろん、駐車場やマンション共用部などの私有地での喫煙は地域の方に大変な迷惑をかけることになります。

絶対にやめてください。（懲戒処分の対象となります）

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され過料(2,000円)の対象です

交通ルール

３号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。　　takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

（１）評価とは成績証明書にＳ～Ｄで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
（２）評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。（点または%）

Ｓ	９０以上
Ａ	８０～８９
Ｂ	５０～７９
Ｃ	４０～４９
Ｄ	３９以下

（３）評価Ｄの者は、単位未修得者として処理される。
（４）評価Ｄの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はＣとする。（特別な努力が認められたものは、Ｂ評価になることもある。）

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り
科目の評価（S～Dの5段階）に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)
に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、
少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。
なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの
科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。
GPA = 【GP　×　履修科目の単位数】の合計　/　履修科目の総単位数

出欠席ルール

（１）遅刻３回で欠課１回、欠課６回（１年生はSHR分の遅刻１回を含む）で１日の欠席とみなし、次の条件で換算する
・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻１」※SHRは１年生のみ
・授業開始15分までの入室で「遅刻１」
・授業開始15～45分までの入室で「欠課１」
・授業開始45～60分までの入室で「欠課１＋遅刻１」
※90分授業の前半45分の欠課１、後半15分までの遅刻１という考え方でカウントする
・授業開始60分以降の入室で「欠課２」
（２）年間５５日の欠席で進級停止、退学勧告。
（３）交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積１０日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積１０日になった時点で行う。
3	累積２５日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積２５日になった時点で行う。
4	累積４０日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積５０日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積５５日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・１ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する
（１）履修した全ての科目において単位修得していること
（２）原則として各年度において年間55日以上の欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

１．ユーザID登録について

本校では、学生１人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

２．メールアドレスについて

（１）科によってメールアドレスが設定されています。
　　詳細は担任から説明があります。

（２）「ＦＪＢインターネット＆イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

（３）Ｗｅｂメールでの各個人に与えられている容量は５０ＭＢまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

３．緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。（スマートフォンでも使用可能）各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

１．実習室の放課後開放について

放課後、午後６時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

２．実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

３．本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のＣＤ－ＲＯＭを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

４．ＵＳＢなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

５．実習ファイルを保存するための領域をＩドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

６．インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。ＨＰやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

７．インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。
また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園　船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

１．個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。

２．個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。

３．取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
（１）本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
（２）就職指導、企業紹介、就職活動支援を行うため
（３）入学相談および募集活動を行うため
（４）入学選考試験業務を行うため
（５）各種証明書等の発行業務を行うため
（６）上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため

４．本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
（１）在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
（２）在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
（３）学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
（４）職業紹介で応募を希望する求人先に対し、応募情報の提供
（５）職業紹介で求職者に開示の許諾を得た業務提携先に対し、応募情報の提供
（６）就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
（７）本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
（８）上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合

５．上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。

６．以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長　鳥居　高之
０４７－４２５－１０５１
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

教育目標と検定スケジュール

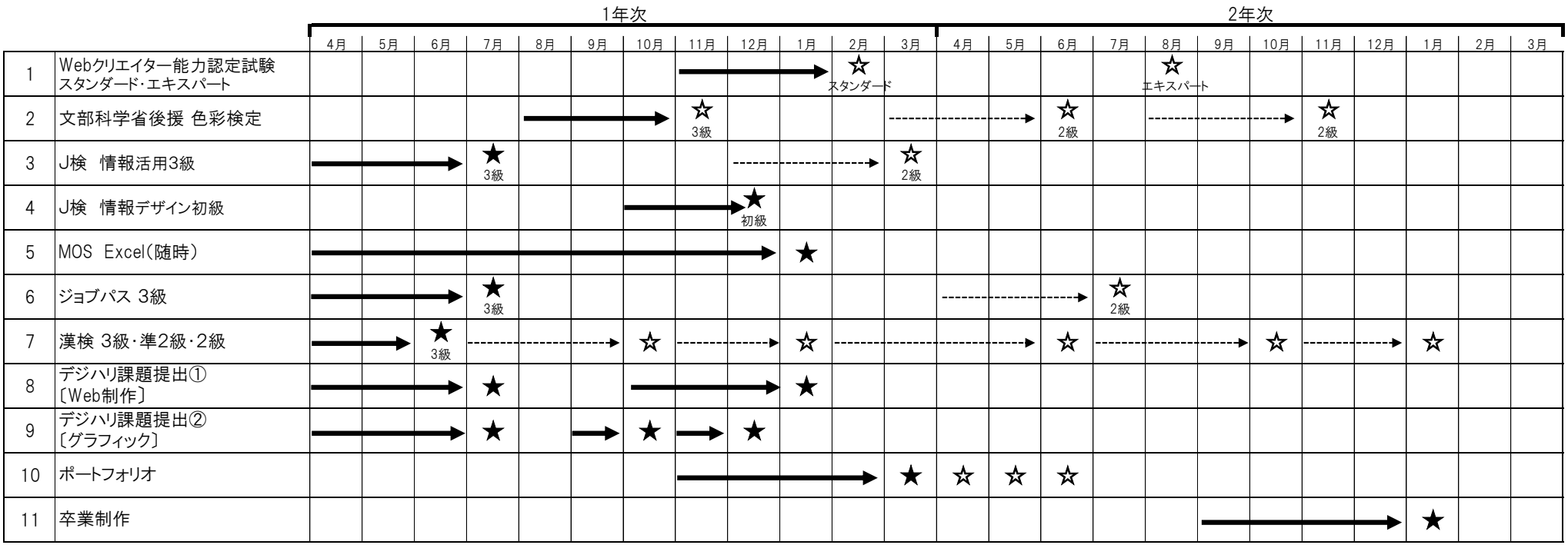
Webクリエイター科

教育目標	・Web制作に必要な技術の習得(HTML、CSS、JavaScript、PHP) ・デザインツール(Illustrator、Photoshop、InDesign、Premiere、AfterEffects)の習得 ・ビジネス社会に必要な知識やプレゼンテーション能力の養成 ・ポートフォリオ(作品集)の制作を通してWeb業界で活躍できる技術力を磨く
目標資格	・サーティファイ Webクリエイター能力認定試験 HTML5 (スタンダード・エキスパート) ・文部科学省後援　色彩検定(2級・3級) ・文部科学省後援 情報検定(J検) 活用(2級・3級)、情報デザイン(初級・上級) ・MOS(Excel・Word) ・文部科学省後援 ジョブパス (2級・3級) ・日本漢字能力検定(漢検)(2級・準2級・3級)
進級条件	・J検(活用3級or情報デザイン初級)＋MOS(Excel)の取得 ・デジタルハリウッド課題(Web制作、グラフィック)の修了
卒業条件	・ポートフォリオ(作品集)の制作、卒業制作提出

《基本方針》
1、社会人として必要な時間管理と報告・連絡・相談を、自ら行えるよう指導する
2、自己表現をする「アーティスト」ではなく、仕事の依頼に沿える「クリエイター」となれるよう技術力を付け、着眼点を鍛える

1年次:
・HTML、CSS、JavaScriptを学び、Webサイトの制作を行うことで、どの工程にも対応できる技術を身につける
・Illustrator、Photoshopを用いて印刷物やWeb素材の制作を行う
・デジタルハリウッドへの課題提出とプロの添削指導によりデザイン力を磨く
・Officeソフトエクセルを学び、実務の基礎を身につける
・J検、ジョブパスを取得し、社会人としての基礎知識や情報処理技術を身につける

2年次:
・動画編集ソフト(Premiere、AfterEffects)を用いて動画制作を行う
・卒業制作を通して、更なる技術力向上と、チームで仕事をする姿勢を養う
・ポートフォリオ(作品集)制作に力を入れ、技術力を高めて就職活動を行う
・DTP技術、JavaScript・PHP言語を習得し、将来の仕事の幅を広げる
・プレゼンテーション能力や目的に合った資料を作成する実務能力の向上を目指す



Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	Web制作演習 I	分　類	専門科目、必修科目
担　当	寺原 美由紀		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	スライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	0%	50%	0%	0%	20%	100%

単位数	6

1. 授業の概要

HTMLとCSSの基礎知識と、テキストエディタによるコーディング作業を学習する。

2. 授業の目標（検定取得など）

Web制作のフローに沿って、Webサイトを制作する力を身につけると共に、Webクリエイター能力認定試験スタンダードの資格取得を目指す。

3. 注意点・要望

コーディングのルールを守り、見やすいHTML・CSSファイルにしましょう。また、課題の提出期限を守りましょう。

4. 関連科目

Webデザイン概論、グラフィックソフト演習、JavaScript演習

週	テーマ	内　容
1	Web・HTMLの概要	講義計画の説明、テキストエディタの設定、Webの仕組み、 HTML文書の構造とタグの書き方
2	HTML文書の作成(1)	HTMLによるマークアップ　各種要素の使い方
3	HTML文書の作成(2)	〃
4	CSSの概要／CSSによる装飾(1)	CSSの基本書式、各種プロパティとセレクタの使い方
5	CSSの概要／CSSによる装飾(2)	〃
6	課題制作　～好きなテーマ～(1)	これまでに学んだ内容で簡単なページを制作する
7	課題制作　～好きなテーマ～(2)	〃
8	構造を作るHTML	セクショニングコンテンツに含まれるHTML要素について
9	課題制作　～設計に沿って～(1)	設計通りにページを作成する
10	課題制作　～設計に沿って～(2)	設計通りにページを作成する
11	ワイヤーフレーム	ワイヤーフレームとは、ワイヤーフレームの制作
12	Web素材の作成	デザインツールからの画像書き出し方法
13	課題制作　～企業依頼～(1)	コンセプトの設定
14	課題制作　～企業依頼～(2)	Webページ作成
15	課題制作　～企業依頼～(3)	Webページ作成
16	前期試験期間	

備　考	

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	Web制作演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	寺原 美由紀		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	スライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	0%	50%	0%	0%	20%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

HTMLとCSSの基礎知識と、テキストエディタによるコーディング作業を学習する。

2. 授業の目標（検定取得など）

Web制作のフローに沿って、Webサイトを制作する力を身につけると共に、Webクリエイター能力認定試験スタンダードの資格取得を目指す。

3. 注意点・要望

コーディングのルールを守り、見やすいHTML・CSSファイルにしましょう。また、課題の提出期限を守りましょう。

4. 関連科目

Webデザイン概論、グラフィックソフト演習、JavaScript演習

週	テーマ	内　容
1	アプリケーション要素	フォーム内の各種要素と属性について
2	その他レイアウト方法(1)	カラムレイアウト、グリッドレイアウト
3	その他レイアウト方法(2)	positionプロパティによる相対配置、絶対配置
4	head要素	head要素内に記述する各種要素について説明
5	課題制作　～複数ページ～(1)	各自好きなテーマで、複数ページからなるWebサイトを作成する ターゲットの設定、コンテンツの検討
6	課題制作　～複数ページ～(2)	サイトマップ作成
7	課題制作　～複数ページ～(3)	ワイヤーフレーム作成
8	課題制作　～複数ページ～(4)	デザインカンプ作成
9	課題制作　～複数ページ～(5)	デザインカンプ作成
10	課題制作　～複数ページ～(6)	クラスの命名について、Webページ作成
11	Web能力認定試験対策(1)	試験概要、問題解説、Webページ作成
12	Web能力認定試験対策(2)	模擬問題演習、Webページ作成
13	課題制作　～複数ページ～(7)	Webページ作成
14	課題制作　～複数ページ～(8)	Webページ作成
15	課題制作　～複数ページ～(9)	Webページ作成

備　考	

Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	Webアプリケーション演習Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	山田　博人		
テキスト（出版社）	1冊ですべて身につくJavaScript入門講座(SBCreative)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	40%	0%	30%	0%	0%	30%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

VisualStudioCodeを使ってJavaScriptの知識と技術を習得し、技術として活用できるようにします。

2. 授業の目標（検定取得など）

JavaScriptの基礎的な知識と技術を理解する。また、それらをWebサイトやアプリケーション制作に応用できるようにする。

3. 注意点・要望

授業では毎回課題が出るので、できるだけ休まないようにしましょう。わからないことがあれば、放課後にぜひ質問してください。
最初から得意な人はいませんので、焦らず地道に少しずつ成長していきましょう。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス 最初に知っておくこと	これから学習する内容について、成績基準について、環境整備
2	アウトプットの基本(1)	JavaScriptの書き方を学ぶ、コンソールに出力
3	アウトプットの基本(2)	ダイアログボックスの表示、HTMLを書き換える
4	JavaScriptの文法(1)	変数と定数を違いを学習する
5	JavaScriptの文法(2)	条件分岐Ifの習得する
6	JavaScriptの文法(3)	演算子を使った簡単な数当てゲームを作成する
7	JavaScriptの文法(4)	論理演算子を使って条件式をスマートにする
8	JavaScriptの文法(5)	くり返しのforとwhileを学ぶ
9	JavaScriptの文法(6)	くり返しが終わらない
10	JavaScriptの文法(7)	functionを覚えよう
11	JavaScriptの文法(8)	functionを応用してたゲームを作ってみよう
12	JavaScriptの文法(9)	【難関】 配列について学びます
13	JavaScriptの文法(10)	【難関】 配列について学びます
14	JavaScriptの文法(11)	【最難関】 オブジェクトについて学習しよう
15	前期試験期間	

備　考	

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	Webアプリケーション演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	山田　博人		
テキスト（出版社）	1冊ですべて身につくJavaScript入門講座(SBCreative)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	40%	0%	30%	0%	0%	30%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

VisualStudioCodeを使ってJavaScriptの知識と技術を習得し、技術として活用できるようにします。

2. 授業の目標（検定取得など）

前期で学習した知識を活用して、様々なアプリケーションの制作します。またWebサイトへの応用も実施します。
最終的にポートフォリオへの掲載できるものを作成できるようにしましょう。

3. 注意点・要望

授業では毎回課題が出るので、できるだけ休まないようにしましょう。わからないことがあれば、放課後にぜひ質問してください。
最初から得意な人はいませんので、焦らず地道に少しずつ成長していきましょう。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	イベントを使いこなそう(1)	ローディング画面を作ってみる
2	イベントを使いこなそう(2)	ボタンを押したら変わる
3	イベントを使いこなそう(3)	状況によって変化させる
4	一歩進んだテクニック(1)	CSSを書き換える
5	一歩進んだテクニック(2)	配列を使ってhtmlを作る
6	一歩進んだテクニック(3)	配列を使ってhtmlを作る
7	アニメーションを作ってみる(1)	色々な表示のさせ方
8	アニメーションを作ってみる(2)	スクロールとアニメーションを合体
9	Webサイトremake(1)	今まで学んだことをWebサイトに組み込んでいく
10	Webサイトremake(2)	今まで学んだことをWebサイトに組み込んでいく
11	Webサイトremake(3)	今まで学んだことをWebサイトに組み込んでいく
12	ゲームで学ぶJavaScript(1)	2Dヒヨコゲームを作ってみよう
13	ゲームで学ぶJavaScript(2)	2Dヒヨコゲームを作ってみよう
14	ゲームで学ぶJavaScript(3)	2Dヒヨコゲームを作ってみよう
15	ゲームで学ぶJavaScript(4)	2Dヒヨコゲームを作ってみよう

備　考	

Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	Webデザイン概論 I	分　類	専門科目、必修科目
担　当	三浦 敦史		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	授業でのスライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	40%	0%	0%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

Webデザインの基礎知識や、グラフィックアプリケーションと制作技術について学ぶ。

2. 授業の目標（検定取得など）

基礎知識と技術を習得し、グラフィック作品やWebサイトの制作に活かす。

3. 注意点・要望

要点を考え、メモを取る力を身につけてください。

4. 関連科目

Web制作演習、Webアプリケーション演習、グラフィックソフト演習

週	テーマ	内　容
1	オリエンテーション	年間予定と学習内容、Web制作に必要な知識、仕事としてのWebデザインとは？
2	色の知識	色の仕組み、色の構造、Webデザインとして色を扱う場合の注意
3	色形式（カラーモード）	RGBモード、CMYモード、表示範囲、デジタルにおける表現方法
4	色と印象	色調、色と印象の関係、色と形の役割の違い
5	配色について	色相環、色彩調和論、秩序の原理、なじみの原理、類似性の原理、明瞭性の原理
6	配色の考え方	コントラスト、色数、配色パターン
7	デザインのための基礎知識	印象に影響する要因 と 視覚調整
8	視覚情報の分類とデザインへの応用(1)	形と印象、面積差と視線誘導、形の構成要素
9	視覚情報の分類とデザインへの応用(2)	視覚的階層、大きさ、色、距離、配置、繰り返し、対比
10	デザインのための基礎知識(1)	文字揃えを基準としてレイアウトを考える
11	デザインのための基礎知識(2)	視線誘導の3つのパターン
12	タイポグラフィ(1)	文字のデザイン構造、書体と文字サイズ、書体の分類と特徴
13	タイポグラフィ(2)	等幅書体とプロポーショナル書体、字間の調整、行間の調整、行長
14	タイポグラフィ(3)	Illustratorによる調整、カーニング、トラッキング
15	前期試験期間	

備　考	デジタルハリウッド講師、またWebディレクション、制作技術支援、企画開発コンサルティング業務などに携わる

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	Webデザイン概論Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	三浦 敦史		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	授業でのスライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	40%	0%	0%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

Illustrator・Photoshopの応用技術、Webリテラシー、HTML・CSSの現場における技術について演習を交えて学ぶ。

2. 授業の目標（検定取得など）

HTMLマークアップ、CSSレイアウトについて学び、さまざまなWebサイト制作に対応できる技術を習得する。

3. 注意点・要望

要点を考え、メモを取る力を身につけてください。

4. 関連科目

Web制作演習、Webアプリケーション演習、グラフィックソフト演習

週	テーマ	内　容
1	Photoshopの基礎知識(1)	描画形式の違い、解像度
2	Photoshopの基礎知識(2)	色相の変更、部分補正と修復
3	Photoshopの基礎知識(3)	明度・彩度・色相の補正、人物レタッチ
4	Photoshopの基礎知識(4)	明暗補正、色調補正、色調効果
5	Photoshopの基礎知識(5)	トーンカーブ、調整レイヤーとスマートフィルター
6	Illustratorの基礎知識(1)	形の組み合わせ、図形を組み合わせて別の図形を作る
7	Illustratorの基礎知識(2)	パスファインダーによる図形の分解と別の図形の作成
8	Illustratorの基礎知識(3)	エンベロープ機能を利用した図形の描画と変形
9	Illustratorの基礎知識(4)	ブレンド機能を利用した図形描画（奥行き感、立体感の表現方法）
10	Illustratorの基礎知識(5)	SVG画像のコード書き出し
11	Webにおける画像サイズ	論理サイズ、物理サイズ、Viewportサイズ
12	Webデザインについて(3)	CSSレイアウトの考え方と作り方
13	Webデザインについて(4)	Emmetを利用したコーディング
14	CSSレイアウト	float属性、CSS Grid、Flexbox
15	後期試験期間	
16		

備　考	デジタルハリウッド講師、またWebディレクション、制作技術支援、企画開発コンサルティング業務などに携わる

Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	グラフィックソフト演習Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	松本 沙耶		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	デジタルハリウッド資料、動画		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	65%	0%	0%	35%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

デジタルハリウッドの教材を使用し、IllustratorとPhotoshopによる画像処理を学ぶ。

2. 授業の目標（検定取得など）

グラフィックソフトの使い方をマスターし、課題提出およびデジタルハリウッド講師による添削指導を受けて作品制作を行う。

3. 注意点・要望

課題提出期限を厳守すること。講評を受け、次回作品に生かすこと。

4. 関連科目

DTP、Webデザイン概論

週	テーマ	内　容
1	Illustratorの基本操作	Illustratorの起動と基本画面、拡大縮小、保存
2	描画ツールでの描画	「塗り」と「線」の設定、図形ツールでの描画、整列
3	ペンツールでの描画	ペンツールでの描画、パス、グラデーション
4	レイヤー	レイヤーについて
5	Illustratorでの文字の入力	トリムマークの制作、定規やガイドの設定、文字の入力
6	オブジェクトの変形	リフレクト、自由変形ツール、クリッピングマスク
7	線の設定とアピアランス	線ツール、アピアランス
8	ワーク・名刺で覚えるIllustrator基礎	作成準備、文字の調整、アウトライン化
9	ワーク・Illustratorパスでロゴマーク	ロゴマークの作成、配置、トリムマークについて
10	課題制作　初級(1)	課題説明、与えられたテーマに沿って課題を制作する
11	課題制作　初級(2)	与えられたテーマに沿って課題を制作する
12	課題制作　初級(3)	与えられたテーマに沿って課題を制作する
13	課題制作　初級(4)	与えられたテーマに沿って課題を制作する
14	Photoshopの基本操作	Photoshopの起動と基本画面、拡大縮小、保存
15	画像の補正	選択範囲、マスク、色の補正
16	前期試験期間	

備　考	各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う。

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	グラフィックソフト演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	松本 沙耶		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	デジタルハリウッド資料、動画		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	65%	0%	0%	35%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

デジタルハリウッドの教材をから学んだ技術を生かし制作する。

2. 授業の目標（検定取得など）

グラフィックソフトの使い方をマスターし、課題提出およびデジタルハリウッド講師による添削指導を受けて作品制作を行う。

3. 注意点・要望

課題提出期間を厳守すること。講評を受け、次回作品に生かすこと。

4. 関連科目

DTP、Webデザイン概論

週	テーマ	内　容
1	画像の補正、画像の加工	スタンプツール、グラデーション
2	画像の加工	フィルター、クリッピングマスク
3	文字の入力	ガイド、文字ツール、テキストボックス
4	課題制作　中級(1)	課題説明、コンセプトやターゲット設定、ラフスケッチ
5	課題制作　中級(2)	Illustrator、Photoshopを駆使しフライヤー課題を制作する
6	課題制作　中級(3)	Illustrator、Photoshopを駆使しフライヤー課題を制作する
7	課題制作　中級(4)	課題の制作、提出について
8	課題制作　上級(1)	課題説明、コンセプトやターゲット設定、ラフスケッチ
9	課題制作　上級(2)	両面印刷、折り加工、写真や文字情報の多いリーフレット課題を制作する
10	課題制作　上級(3)	両面印刷、折り加工、写真や文字情報の多いリーフレット課題を制作する
11	課題制作　上級(4)	両面印刷、折り加工、写真や文字情報の多いリーフレット課題を制作する
12	課題制作　上級(5)	両面印刷、折り加工、写真や文字情報の多いリーフレット課題を制作する
13	課題制作　上級(6)	課題の制作、提出について
14	作品制作(1)	作品作り、コンテストなどにも挑戦する
15	作品制作(2)	作品作り、コンテストなどにも挑戦する
16	作品制作(3)	作品作り、コンテストなどにも挑戦する

備　考	各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う。

Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	DTP Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	松本 沙耶		
テキスト（出版社）	新版DTPベーシックガイダンス(公益社団法人日本印刷技術協会)		
参考資料	授業内で配布するプリントなど		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	45%	35%	0%	20%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

印刷についての基礎知識を身につける。

2. 授業の目標（検定取得など）

印刷、DTPとは何かを理解しデータを制作ができるようになる。

3. 注意点・要望

各自ノート作成を行うこと、課題提出期限を厳守すること。

4. 関連科目

グラフィックソフト演習

週	テーマ	内　容
1	DTPのはじまり	DTPとは何か、歴史について
2	紙・文字・色についての実習	文字や色の与える印象についての実習
3	基礎知識(1)	紙について
4	基礎知識(2)	レイアウトについて
5	レイアウトについての実習	様々なレイアウトについての実習
6	基礎知識(3)	画像について
7	基礎知識(4)	画質、解像度について
8	基礎知識(5)	画像形式について
9	レイアウト・画像についての実習	レイアウトや画像形式についての実習
10	基礎知識(6)	色み、色の形式について
11	基礎知識(7)	オフセット印刷などの印刷方式について
12	基礎知識(8)	インキについて
13	基礎知識(9)	製本方法について
14	基礎知識(10)	面付け、折丁について
15	前期試験期間	

備　考	各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	DTPⅡ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	松本 沙耶		
テキスト（出版社）	新版DTPベーシックガイダンス(公益社団法人日本印刷技術協会)		
参考資料	授業内で配布するプリントなど		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	45%	35%	0%	20%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

印刷についてのより高度な知識を身につける。

2. 授業の目標（検定取得など）

適切な印刷知識を学び、様々な印刷物を制作できるようになる。また、ポートフォリオの制作も行う。

3. 注意点・要望

各自ノート作成を行うこと、課題提出期限を厳守すること。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	制作と進め方	サムネイル、ラフスケッチ制作、ターゲットについて
2	制作環境 ポートフォリオ制作(1)	印刷に関わるハード、ソフトウェアについて ポートフォリオを制作するにあたって、ページ構成を考える
3	ポートフォリオ制作(2)	ポートフォリオのプロフィールページの制作
4	ポートフォリオ制作(3)	ポートフォリオのプロフィールページの修整
5	ポートフォリオ制作(4)	ポートフォリオ1P目テンプレートの制作
6	ポートフォリオ制作(5)	ポートフォリオ1P目テンプレートの修正
7	ポートフォリオver.1制作(1)	今までの作品をまとめ、テンプレートを元に他ページも制作する
8	ポートフォリオver.1制作(2)	今までの作品をまとめ、テンプレートを元に他ページも制作する
9	ポートフォリオver.1制作(3)	ポートフォリオ第一弾を提出
10	ポートフォリオver.2制作(1)	クオリティの高いポートフォリオに修整、編集する
11	ポートフォリオver.2制作(2)	クオリティの高いポートフォリオに修整、編集する
12	ポートフォリオver.2制作(3)	クオリティの高いポートフォリオに修整、編集する
13	ポートフォリオver.2制作(4)	クオリティの高いポートフォリオに修整、編集する
14	ポートフォリオver.2制作(5)	ポートフォリオ第二弾を提出、書き出し方について、ブラッシュアップ
15	後期試験期間	

備　考	各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う

Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	情報基礎	分　類	専門科目、必修科目
担　当	山田 博人		
テキスト（出版社）	でる順×分野別　漢検問題集(旺文社) かんたん合格　ITパスポート　教科書＆必須問題		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	0%	0%	20%	20%	30%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

各検定試験の合格に向け、検定の対策を実施する。
また、小テストなどを都度実施することで振り返りを行えるようにする。

2. 授業の目標（検定取得など）

J検・漢検など、デザイン系以外の基本検定取得を目指す。
点数によっては放課後に残ってやることになります。

3. 注意点・要望

資格を2種類取得するのでやはり座学が中心となります。過去問演習などしっかりとしていきましょう。
漢字検定については受験する級によって内容が少し異なる可能性があります。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	パソコンの基礎(1)	ハードウェアとソフトウェアについて
2	パソコンの基礎(2) 小テスト(1)	OSとファイル管理
3	ネットワーク(1)	インターネットの種類とプロトコル
4	ネットワーク(2) 小テスト(2)	アドレスとメール
5	アプリケーションソフトの利用(1)	ソフトの基本操作
6	アプリケーションソフトの利用(2) 小テスト(3)	さまざまなソフトの操作方法
7	情報社会とコンピュータ 小テスト(4)	身近なITの光と闇について
8	情報モラル 小テスト(5)	情報社会におけるモラルとルールについて
9	過去問演習	最新の過去問を利用して解答の流れを確認する
10	漢字検定対策(1)	過去問演習①
11	漢字検定対策(2)	過去問演習②
12	漢字検定対策(3)	過去問演習③
13	J検定対策(1)	過去問演習と解説①
14	J検定対策(2)	過去問演習と解説②
15	J検定対策(3)	過去問演習と解説③
16	J検定対策(4)	過去問演習と解説④

備　考	

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	情報デザイン	分　類	専門科目、必修科目
担　当	寺原 美由紀		
テキスト（出版社）	必ず合格！色彩検定3級 公式テキスト解説＆問題集　2026年度版（MdN） 改訂版 J検情報デザイン完全対策公式テキスト（JMAM）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	40%	30%	30%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

色彩検定3級の内容を学ぶことにより色彩の知識を身につける。
情報をデザインする技術を学び、制作物のレイアウトや表現に役立てる。

2. 授業の目標（検定取得など）

色彩検定3級の取得、および情報検定（J検）情報デザイン初級の取得を目指す。

3. 注意点・要望

資格取得を目標に、Webクリエイターとして必要な情報デザインや色彩の知識を身につけ、作品に活かすこと。

4. 関連科目

Web制作演習、グラフィックソフト演習、DTP

週	テーマ	内　容
1	光と色	眼のしくみ、照明と色の見え方、混色
2	色の表示	色の分類と三属性、PCCS
3	色彩心理	色の心理効果、色の視覚効果
4	色彩調和	配色技法
5	配色イメージ	色の三属性と配色
6	ファッション	ファッションにおけるカラーコーディネーション
7	インテリア	インテリアにおけるカラーコーディネーション
8	色彩検定対策(1)	問題演習と解説
9	色彩検定対策(2)	問題演習と解説
10	色彩検定対策(3)	問題演習と解説
11	情報デザインの考え方	情報とコミュニケーション、情報デザインの活用、作業とプロセス
12	情報の収集と整理	調査の目的、調査手法、分析と整理、ペルソナとシナリオ
13	問題解決と発想	問題の捉え方、問題解決の手順、問題解決手法の選択
14	情報の構造化と表現	情報構造の種類
15	情報の伝達と評価	伝える目的、評価の目的
16	情報デザイン検定対策	問題演習と解説

備　考	

Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	Office演習 I	分　類	専門科目、必修科目
担　当	森廣　永江		
テキスト（出版社）	Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト& 問題集　（FOM出版）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	40%	30%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す

2. 授業の目標（検定取得など）

Microsoft Office Specialist　Excel2019

3. 注意点・要望

・単に操作を覚えるのではなく、必要な場面で使える様に知識の定着を図ること
・毎回テキストを忘れないようにすること

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス	MOS試験について、成績評価について、環境の確認、EXCELの基本
2	Excel2019 演習(1)	セルやセル範囲のデータの管理1
3	Excel2019 演習(2)	セルやセル範囲のデータの管理2
4	Excel2019 演習(3)	セルやセル範囲のデータの管理3
5	Excel2019 演習(4)	出題範囲2　確認問題
6	Excel2019 演習(5)	ワークシートやブックの管理1
7	Excel2019 演習(6)	ワークシートやブックの管理2
8	Excel2019 演習(7)	ワークシートやブックの管理3
9	Excel2019 演習(8)	出題範囲1　確認問題
10	Excel2019 演習(9)	テーブルとテーブルのデータの管理1
11	Excel2019 演習(10)	テーブルとテーブルのデータの管理2
12	Excel2019 演習(11)	テーブルとテーブルのデータの管理3
13	Excel2019 演習(12)	出題範囲3　確認問題
14	Excel2019 演習(13)	数式や関数を使用した演算の実行1
15	前期試験期間	

備　考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるExcelの知識を講義する。

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	Office演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	森廣　永江		
テキスト（出版社）	Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト& 問題集　（FOM出版）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	40%	0%	30%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す

2. 授業の目標（検定取得など）

Microsoft Office Specialist　Excel2019

3. 注意点・要望

・繰り返し問題演習を行うこと
・毎回テキストを忘れないようにすること

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	Excel2019 演習(1)	数式や関数を使用した演算の実行3
2	Excel2019 演習(2)	出題範囲4　確認問題
3	Excel2019 演習(3)	グラフの管理1
4	Excel2019 演習(4)	グラフの管理2
5	Excel2019 演習(5)	グラフの管理3
6	Excel2019 演習(6)	出題範囲5　確認問題
7	Excel2019 演習(7)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策1
8	Excel2019 演習(8)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策2
9	Excel2019 演習(9)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策3
10	Excel2019 演習(10)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策4
11	Excel2019 演習(11)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策5
12	Excel2019 演習(12)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策6
13	Excel2019 演習(13)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策7
14	Excel2019 演習(14)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策8
15	後期試験期間	

備　考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるExcelの知識を講義する。

Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	ビジネス実務	分　類	教養科目、必修科目
担　当	高橋　豊		
テキスト（出版社）	2025年度版　ビジネス能力検定ジョブパス3級　公式テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	70%	0%	0%	0%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

社会人にとって必要な仕事・人間関係・マナーなどのビジネス能力の基礎を学び、実務に即した知識技能を身につける。

2. 授業の目標（検定取得など）

ビジネス能力検定ジョブパス3級

3. 注意点・要望

プリント・資料を多く配布するので、きちんとファイリングすること。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	導入・概要 仕事と社会人としての意識	ビジネス実務と授業の概要を把握する。 仕事への取り組み方を学び、社会人を意識する。
2	ビジネスマナー	お辞儀、挨拶、身だしなみなどのビジネスマナーについて学び、 実践できるようにする。
3	仕事の基本	仕事の基本姿勢である8つの意識を考察し、仕事の理解を深める。
4	仕事への取り組み	業務の流れを知り、効率的な仕事の進め方を理解する。
5	指示・報告・連絡・相談	指示の受け方と報告や連絡、相談のポイントとそのやり方を学ぶ。
6	業務とスケジュール管理	業務とマニュアルの効果について理解し、 スケジュール管理や情報の整理法を学ぶ。
7	話し方と聞き方、敬語	ビジネスにふさわしい話し方、言葉遣いを敬語の使い方と共に学ぶ。
8	情報収集とメディア	新聞やインターネットなど、さまざまなメディアから情報収集力を養う。
9	統計データの読み方	データの読み方とまとめ方を学び、その分析力を養う。
10	検定対策(1)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。
11	検定対策(2)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。
12	検定対策(3)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。
13	ビジネス用語	基本的なビジネス用語を理解し、社会で生かせるようにする。
14	ビジネス文書(1)	ビジネス文書が果たす役割に関して考察する。 ビジネス文書の種類とその特徴を理解する。
15	ビジネス文書(2)	社外社内各文書の特徴を理解し、その書き方を学ぶ。

備　考	

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	就職講座A	分　類	教養科目、必修科目
担　当	田邊　悦子・遠藤　幹雄		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	30%	40%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

就職活動の流れを知り、自己分析や企業研究ができる力を身につける
内定をいただくためにやるべきこと、必要なことを考える

2. 授業の目標（検定取得など）

①自分を知る　②企業を知る　③準備をする　④不安を減らす

3. 注意点・要望

授業課題は、①履歴書　②メール　③面接&エントリーシート対策ファイル　④報告書　等で評価
就職活動は教室で完結するものではないので、実際の活動やイベントへの参加も平常点として加味します

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	就職活動の流れ	ともに働きたい人、新卒の就職活動、新卒採用の特権、就職活動スケジュール 授業の目的、就職指導室の利用、Teamsの利用、学科担当教員の紹介
2	企業が求める人物像	グループディスカッションのポイントと実践、専門学校生の武器 就職活動用フォルダ作成
3	内定までの流れ＆エントリーの準備	内定までの流れ、就職活動支援サイト、自己分析 求人票検索システムの使い方、就職活動時の手続き
4	企業とのやりとり	主な提出書類、方法、注意事項、メールの基本、電話の基本
5	履歴書の作成	書き方のポイント、企業への提出方法、学校指定フォーマットでの履歴書作成
6	企業研究のポイント（1）	業種動向、企業の取引形態、職種とは、業界・企業研究の資料、企業名称
7	企業研究のポイント（2）	求人票、自己申告書・青少年雇用情報シート、自己申告書
8	企業研究のポイント（3）	SIerの分類、SIerの職種、IT系以外の職種
9	面接＆エントリーシート対策	メラビアンの法則、ハロー効果、自己PR・ガクチカ作成のポイント 対策シートの活用
10	面接試験（1）	挨拶の基本、身だしなみ、対策動画の視聴、Web面接に必要な準備
11	求職登録、就活支援サイトの活用 学校求人の確認	就職先の希望、必要となる条件等のアンケート、2027卒向け求人票の確認 就活支援サイト「マイナビ」の使い方
12	面接試験（2）	面接試験の種類、面接の流れと評価のポイント、面接試験前、面接室、終了後
13	これまでの準備と成果物の整理 志望動機の作成	履歴書、面接＆エントリーシート対策ファイル（ガクチカ、自己PR） 仕事のやりがい、企業研究の目的、志望動機のポイント
14	春休み期間中の活動に向けて	どうすればよい？　できる？できてる？　学内合同企業説明会参加企業の紹介
15	後期試験期間	
16		

備　考	IT関連の業務経験と就職指導経験のある職員（職業紹介責任者）が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	就職講座B	分　類	教養科目、必修科目
担　当	山田　博人		
テキスト（出版社）	2027年度版　大事なとこだけ！　SPI(永岡書店) これが本当のCAB・GABだ! 2027年度版【Web-CAB・IMAGES対応】(本当の就職テスト)(講談社)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	0%	20%	20%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

就職活動に必要な、文章力・対話力・読解力・計算力など、社会に出てから必要となる基礎を学習する。
SPI、CAB・GABの試験対策を実施する。

2. 授業の目標(検定取得など)

試験対策をしっかりと実施することで就職活動をスムーズに行えるようにする。
毎回小テストを実施するので、公欠などで欠席が生じた場合は、次の授業までに範囲のテストを終えておくこと。

3. 注意点・要望

苦手を苦手のままにせず少しずつでも良いので日々成長していきましょう。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	SPI対策(1)	鶴亀算、仕事算、年齢算
2	SPI対策(2)	割合、売買損益
3	SPI対策(3)	速さ、集合、料金の割引
4	SPI対策(4)	順列・組み合わせ　確率
5	SPI対策(5)	数表・図表、推理
6	SPI対策(6)	暗号
7	SPI対策(7)	確認小テスト
8	CABGAB対策(1)	法則性
9	CABGAB対策(2)	命令表
10	CABGAB対策(3)	暗号
11	SPI　効果測定(1)	模試を実施
12	CAB・GAB効果測定	模試を実施
13	SPI　効果測定(2)	模試を実施
14	SPI　効果測定(3)	模試を実施
15	SPI　効果測定(4)	模試を実施
16	SPI　効果測定(5)	模試を実施

備　考	

Webクリエイター科	1年

【前期】

科　目	社会人基礎力Ⅰ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	寺原　美由紀		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事の運営により養う。
就職活動に向け自己分析を行い、履歴書の作成や面接対策を行う。

2. 授業の目標（検定取得など）

社会人になるということを考え、主体的に物事に取り組む力を付ける。

3. 注意点・要望

提出物の期限を守りましょう。

4. 関連科目

ビジネス関連科目全般

週	テーマ	内　容
1	導入	提出物回収、宿題採点、グループワーク
2	適性検査	適性検査、グループワーク
3	社会人の心構え	社会人基礎力とは、学校生活における目標設定
4	ボランティア活動	ひろえば船橋が好きになる運動の一環で地域の美化活動を行う
5	前に踏み出す力(1)	主体性：物事に進んで取り組む
6	前に踏み出す力(2)	働きかけ力：他人に働きかけ巻き込む力
7	前に踏み出す力(3)	実行力：目的を設定し確実に行動する力
8	前に踏み出す力(4)	体育祭競技について
9	前に踏み出す力(5)	学園祭プロジェクトを立ち上げる、企画立案①
10	前に踏み出す力(6)	学園祭プロジェクトを立ち上げる、企画立案②
11	前に踏み出す力(7)	プロジェクトの目標を理解する
12	前に踏み出す力(8)	プロジェクトメンバーをリードする、助ける
13	考え抜く力(1)	課題発見力：現状を分析し目的や課題を明らかにする
14	考え抜く力(2)	計画力：課題の解決に向けたプロセスを明らかにする
15	考え抜く力(3)	創造力：新しい価値を生み出す力
16	考え抜く力(4)	データを集めて現状を観察する

備　考	

Webクリエイター科	1年

【後期】

科　目	社会人基礎力Ⅱ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	寺原　美由紀		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事の運営により養う。
就職活動に向け自己分析を行い、履歴書の作成や面接対策を行う。

2. 授業の目標（検定取得など）

社会人になるということを考え、主体的に物事に取り組む力を付ける。

3. 注意点・要望

提出物の期限を守りましょう。

4. 関連科目

ビジネス関連科目全般

週	テーマ	内　容
1	チームで働く力(1)	発信力：自分の意見をわかりやすく伝える
2	チームで働く力(2)	傾聴力：相手の意見を丁寧に聴く力
3	チームで働く力(3)	柔軟性：意見の違いや立場の違いを理解する力
4	チームで働く力(4)	状況把握力：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
5	チームで働く力(5)	規律性：社会のルールや人との約束を守る力
6	チームで働く力(6)	ストレスコントロール力：ストレスの発生源に対応する力
7	チームで働く力(7)	実践：学園祭の運営
8	チームで働く力(8)	振り返り
9	就職活動に向けて　自己分析(1)	自分自身を振り返ってみよう
10	就職活動に向けて　自己分析(2)	過去の自分を分析してみよう
11	就職活動に向けて　自己分析(3)	現在の自分を分析してみよう
12	就職活動に向けて　自己分析(4)	あなたの価値観とは、価値観から導き出す自分のタイプ
13	就職活動に向けて　自己分析(5)	自分の長所を発見しよう
14	自己PR	これまでの自己分析をふまえ、自己PRを完成させる
15	ガクチカ	この1年間を振り返り、学生時代に力を入れたことを完成させる
16	面接でよく聞かれる質問	自己PRやガクチカ以外の質問の対策

備　考	